



資料3-2

よろず支援拠点事業の取組について

平成28年11月
中小企業庁 経営支援課

よろず支援拠点事業の概要

背景

- ✓ 複数の支援機関が存在することで、中小企業・小規模事業者からは、どこに相談すればいいのかわからないという声が多い。
- ✓ そこに行けば適切な相談機関につなげる、売上拡大など高度な経営相談に対応できる相談機関が必要。

「よろず支援拠点」を設置(平成26年6月～)

1. 中小企業・小規模事業者に対し、一歩踏み込んだ専門的な助言を行うワンストップ相談窓口。
(各都道府県の中小企業支援センター等に設置)

【具体的事業】

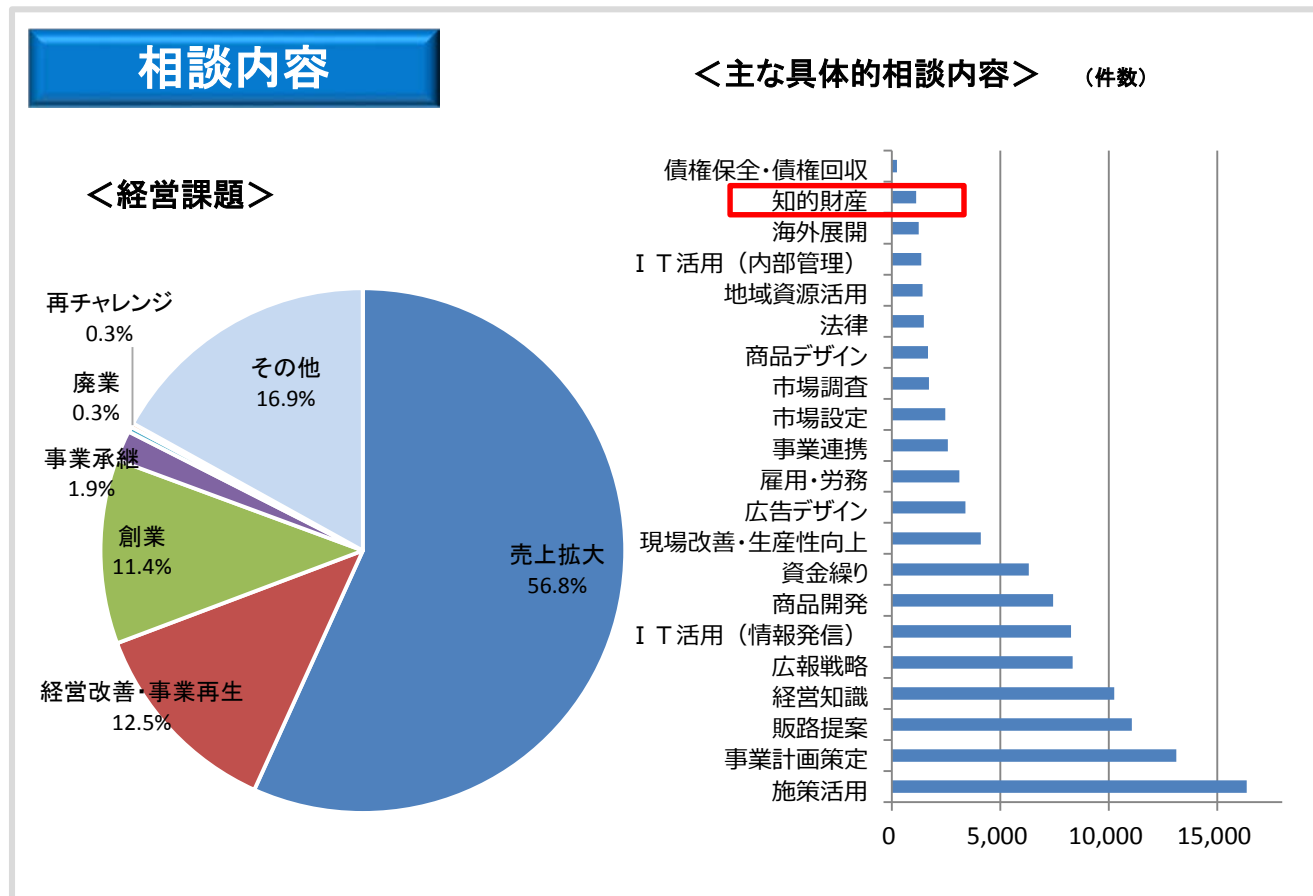
- ①どこに相談すべきかわからない事業者が電話や訪問で気軽に相談できる窓口
 - ②売上拡大等のための解決策を提案
(新商品のアイデア、パッケージなどの新デザイン、インターネット販売立ち上げなど)
 - ③経営改善策を提案し、行動に移すための専門家チームを編成して派遣
(企業OB、弁護士など)
2. 中小企業庁と各都道府県で選んだ5～10名の専門家を配置。専門分野は経営コンサルティングに加え、ITやデザイン、知的財産など。
 3. 設置(平成26年6月)から平成28年9月までで約42万件の相談。各都道府県とも増加傾向。

よろず支援拠点の事業実績(平成27年度)

○平成28年3月末で243,354件(一拠点あたり月平均431件)、前年度比2.1倍(月平均比)の相談対応を実施。84,043件の課題解決。

○相談内容は、よろず支援拠点のモデルとしている「売上拡大」が57%、「経営改善・事業再生」が12.2%となっている。

○相談者満足度調査では、満足・やや満足を合わせて88%、前年度(84%)よりも向上。



よろず支援拠点の知財相談実績

【推移】

		平成27年度	平成28年度 <small>※平成28年4月～9月実績</small>
相談内容	デザイン	5,585件	4,277件
	知的財産	1,220件	851件
有資格者	弁理士	2名	5名
	弁護士	2名	11名
デザイン等の知財相談対応可能拠点数		28拠点	38拠点

【今年度の知財相談の対応状況】

1. 相談体制の強化等に向けて予算を増額。(平成28年度は54.7億円の内数)
2. よろず支援拠点全国本部に設置しているサポートチームに、係争・訴訟に実績のある弁護士等の専門家を新たに任命。(平成28年4月)
3. 知財等の相談に対応できる人材の追加配置や、全国研修で知財に関する研修など、各よろず支援拠点における支援機能の強化について実施。

(参考:全国研修にて実施内容)

- ・施策情報提供:知財活用に関する施策の紹介(平成28年5月18日実施)
- ・知的財産推進計画2016について(平成28年9月16日実施)

知財に関する支援事例

各よろず支援拠点が取り組んだ企業支援に関する事例を全国本部のHPに掲載。事例集には特許や商標、デザインといった知財に関するものも多数紹介。

【特許】

- ・新しいピアノシューズを販売開発し、売上拡大(東京)
- ・地元名産を使った洋菓子開発を実施し販路拡大(群馬)
- ・封筒用紙の特許を活用し販路拡大(東京)
- ・新商品の知財保護を実施し、売上拡大(福岡)
- ・「石炭米」を商店街の動きと連動させ、新商品開発に成功(長崎)

【商標】

- ・通常ギフトを岩手ブランド化し、商標登録を実施(岩手)
- ・自社製品として会津の木工製品を開発し、商標登録を実施(福島)
- ・知財登録をし、ペット関連の展示会で販路を開拓(群馬)
- ・顧客から信用を獲得し、既存事業の更なる販路拡大(埼玉)
- ・「朝採れ横須賀野菜と焼きたてパン」の新店舗を創業(神奈川)
- ・「最強脳みそ」どら焼きを開発し販路開拓(佐賀)

【デザイン】

- ・店舗デザインを開発し必要最低限のコストで開店(埼玉)
- ・コンセプトを具体化した法要冊子を商品化(山梨)
- ・「島こんにやく」の商品デザインを見直して売上拡大(長崎)

